



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 マルコ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 岩本 眞二
(コード 9980 東証二部)
問 合 せ 先 執行役員 管理本部長兼経理部長
巻田 眞一郎
(TEL 06-6455-1205)

通期業績予想と実績値との差異、株主優待費用 及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 15 日に公表した平成 30 年 3 月期の連結業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成 30 年 3 月期における株主優待費用及び繰延税金資産の計上についても合わせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

平成 30 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,000	1,200	1,300	1,100	12.87
今回発表予想 (B)	14,916	900	771	1,528	16.05
増減額 (B-A)	△83	△299	△528	428	3.18
増減率 (%)	△0.6	△25.0	△40.7	39.0	24.7
(ご参考) 前期実績 (C) (平成 29 年 3 月期)	13,401	135	127	268	3.77
増減額 (B-C)	1,515	764	643	1,260	12.28
増減率 (%)	11.3	564.6	503.6	469.9	325.7

2. 修正の理由

平成 30 年 3 月期は、『Maruko Reborn Project』を掲げ、中長期的な成長への基盤構築に向けて事業構造改革による収益基盤の改善を促進してまいりました。

主な取り組みといたしましては、新たな集客方法としてテレビコマーシャルなどメディアプロモーションを積極的に推進するとともに、コスメなど新商品の開発強化による商品ラインナップの拡充、自社割賦制度（当社と契約いただき、商品購入代金を分割して支払っていただける仕組み）の導入や店舗リニューアルなど、成長への投資を先行して実施いたしました。その結果、ご購入者数、ご購入金額ともに前期を上回って推移するなど、上記記載のとおり対前期比で収益改善が大きく進捗いたしました。

一方、営業利益及び経常利益の期初業績予想との差異の要因は、以下の中長期的な成長への基盤構築のための投資が先行したことによるものであります。

- ① メディアプロモーションや集客キャンペーン等に係る費用の増加。
- ② 新商品及び新規事業開発に係る費用の増加。
- ③ 店舗環境の改善（移転や全面改装）に係る費用の増加。
- ④ 公募増資（平成 29 年 8 月）及びそれに伴い実施した第三者割当増資（平成 29 年 9 月）に係る費用の計上。

⑤ 上記の増資等により、株主様の数が 9,644 名（平成 29 年 3 月末）から 32,032 名（平成 29 年 9 月末）、46,211 名（平成 30 年 3 月末）へと大幅に増加した結果、株主優待費用 1 億 71 百万円を計上するなど、株主関連費用の増加。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の期初業績予想との差異の要因は、事業構造改革及び収益基盤の改善が着実に進んでおり、今後の業績動向において成長が見込めることを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、平成 30 年 3 月期において繰延税金資産を計上し、法人税等調整額△7 億 15 百万円（△は益）を計上したことによるものであります。

以 上